

第 116 回 応用化学セミナー

題 目: 診断・治療薬としての二重特異性核酸アプタマー

講 師: 吉本 敬太郎 (東京大学大学院総合文化研究科)

日 時: 令和 5 年 10 月 12 日(木) 15:00~16:00

場 所: B5 棟 6 階 6B31 教室



(概要) 分子認識能をもつ核酸は「核酸アプタマー」と呼ばれ、①酵素で増幅が可能、②多価化分子の設計・製造が容易、③相補鎖で標的分子との結合を解除できる、などの特長をもつため、診断薬や治療薬の開発研究において魅力的な中分子です。本講演では、演者らのグループで開発した核酸アプタマー選抜法、さらに核酸アプタマーを用いる診断システムや血液凝固疾患に対する治療薬などについて紹介・解説を行う。

吉本先生は、核酸科学を軸とする分析化学、細胞工学、創薬などの幅広い研究を進めつつ、研究成果の社会還元にも精力的な研究者です。今回、共同研究の打合せにて大阪公立大学にお越しいただけることになりましたので、是非この機会にと思い、ご講演をお願いいたしました。学生さんにも有益なお話を伺えると思います。奮ってご参加ください。

(世話人: 応用化学分野 久本秀明 (内線 5887))